

<p>児童の実態</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・製作に対して意欲はあるが、細かい作業を苦手とする児童の中には、意欲的に取り組めない児童もいる。 ・基礎的な知識・技能には個人差があり、学習を積み重ねる中で身に付けている段階である。 ・調理実習に対して意欲的に取り組んでいる児童が多い。準備や後片付けも協力して行っている。学校で経験したことを家庭でもやってみようとする児童もいる。「切る」作業には個人差が大きく見られ、授業で初めて包丁を使う児童もいる。 ・自分の生活や家庭生活について現状を見つめ直したり、改善策を考えたりすることはできるが、日常で実践するところまでは難しい。 		
<p>授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<p>視点1 上二小授業スタンダードの徹底</p>	<p>視点2 読み解く力の育成</p>	<p>視点3 「探究の時間」またはその他の教科との連携</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・めあての提示と振り返りで学習内容を確認する。 ・調理、裁縫などの実習では、グループ学習や振り返りの時間を通して、お互いの考えを伝え合う場を設定し、自分の考えを広げたり、深めたりしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動画やイラストなどを使い、製作手順や技法の習得につなげる。 ・授業の中で、児童が互いの考えを共有する時、言葉の使い方に気を付けて、正確に伝えるよう指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調理、掃除、洗濯などの単元では、学校で経験したことを家庭でも行うような課題を出す。
<p>その他授業改善に向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実習の際は、作業を行う前に、作業手順や完成形を具体的にイメージができるよう学習カード等の教材・教具を工夫する。 ・これまでの生活を振り返り、友達と伝え合ったり発表したりする活動などを通し、意識をして自分の生活改善に取り組むことができるようにする。 ・衣・食・住に関し、家庭の一員としての仕事の分担、実践において、家庭との連携を図っていく。また、家庭の負担にならないように配慮した課題を設定する。 		

